



「経済とコミュニティ」

図書館副館長
コミュニティ福祉学部
教授 北島 健一
Kitajima Kenichi



- 『新訳 大転換：市場社会の形成と崩壊』 カール・ポランニー著 野口建彦、柘原学訳 (東洋経済新報社 2009年)
- 『経済の文明史』 カール・ポランニー著 玉野井芳郎、平野健一郎編訳 石井溥 [ほか] 訳 (ちくま学芸文庫 2003年)
- 『共生の大地：新しい経済がはじまる』 内橋克人著 (岩波新書 1995年)
- 『農山村は消滅しない』 小田切徳美著 (岩波新書 2014年)
- 『地域に希望あり：まち・人・仕事を創る』 大江正章著 (岩波新書 2015年)
- 『連帯経済：その国際的射程』 ジャン＝ルイ・ラヴィル編 北島健一、鈴木岳、中野佳裕訳 (生活書院 2012年)
- 『承認をめぐる闘争：社会的コンフリクトの道徳的文法』 アクセル・ホネット著 山本啓、直江清隆訳 (法政大学出版局 2014年)
- 『社会構成主義の理論と実践：関係性が現実をつくる』 K・J・ガーゲン著 永田素彦、深尾誠訳 (ナカニシヤ出版 2004年)
- 『コミュニケーション的行為の理論 上、中、下』 ユルゲン・ハーバーマス著 河上倫逸、M.フーブリヒト、平井俊彦訳 (未来社 1985-1987年)
- 『ルイ・ボナパルトのブリュメール18日』 カール・マルクス著 丘沢静也訳 (講談社学術文庫 2020年)

コミュニティのなかでは人々は自分も含めた仲間の必要を満たすために生産する。やがて生産力が向上し、その結果、生産に余剰が生じ、それを他所に出かけて行って売人が現れ始める。社会経済学者カール・ポランニーによれば、アリストテレスはこの「金を稼ぐ(money-making)」ための経済の出現に気づき、将来、必要を満たすための経済、コミュニティに破壊的な作用を及ぼしうることを危惧した。長い時をかけて、この稼ぎのための経済は、コミュニティを弱体化させつつ市場競争へと発展していく。18世紀頃には制度化され、以後、市場経済は支配的な経済の統合形態としてまるで自然のごとく受け止められていく。しかし、このプロセスはその一方で、存在そのものを「無視」され、生存を脅かされた人々の集団的な抵抗も生み出していった(文献 1、2)。現代の「社会保護」の仕組みの中にそのようなインシアチブの痕跡を見て取れるものも少なくない。

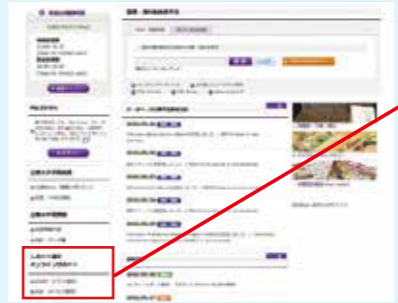
私は、コミュニティを支える経済のあり方を研究課題とし、今を生きる住民・市民の生存のための集団的な経済的取組みの中にすでにその萌芽は見出せるものと考えてきた(日本の事例として文献 3、4、5)。金融化した経済活動のグローバル化と並行してそのような生き残りを賭けた民衆の取組みもグローバル化し、近年、社会的企業や「連帯経済」という概念でこの動きを捉えるのが主流となってきた(文献 6)。その場合の理論的支柱となっているのが、市場経済を相対化するポランニーの議論である。もっとも、彼の「二重の運動」論は個人の解放、自由という視点が弱く、ホネットの「社会的自由」や「承認」の概念などで補って考える必要がある(文献 7)。最後に、社会科学を勉強するうえで土台となる存在論・方法論上の基礎を学ぶために社会構成主義や間主観性の議論(文献 8、9)、さらにはマルクスの歴史を扱った著作にも挑戦してほしい(たとえば文献 10)。

Information

オンラインでレポートの相談をしてみよう：「Zoom」・「ASK」サービス

レポート作成で悩んだら、図書館のラーニングアドバイザーに相談しましょう！2つの方法をご紹介します。

図書館トップページ(<http://library.rikkyo.ac.jp/>)のサイドメニューからZoomまたはASKを選択し、V-CampusのID・PWでログインして利用してください。



(図書館WEBサイトトップページ)

レポート論文
オンラインサポート

- ZOOM (ビデオ通話)
- ASK (メールで質問)

または

こちらのQRコードから

▼Zoom

▼ASK

■ Zoom (ウェブ会議システム) を使ってレポート相談

オンラインで大学院生のラーニングアドバイザーと会話しながら、じっくり相談できます。参考資料や書いたレポートをPCで画面共有しながら、話すこともできます。予約ページのカレンダーから相談希望日時のボタンを選んで予約してください。(1回30分程度。次に予約がなければ延長もできます。)

■ ウェブメールサービス「ASK」で質問

フォームから質問すると、数日以内にメールで回答します。自分と同じような質問がないか、あらかじめよくある質問で調べることもできます。



立教大学図書館だより

特集 コロナ禍の図書館サービス
—これまでとこれから—

読書ナビ
北島 健一 教授
Kitajima Kenichi
図書館副館長

竹取物語 貼交屏風「天人の迎え、かぐや姫の昇天」
(立教大学図書館蔵)

天人たちがかぐや姫を迎えにきた場面。
画面上部に三峰の富士を描き、それを背景に瑞雲に乗る天人たちが描かれています。



■ コロナ禍の図書館サービス

立教大学図書館では従来の「来館型サービス」に加えて、学外からでも利用可能な「非来館型サービス」を提供しています。「非来館型」の代表的なサービスは、オンラインデータベースやオンラインジャーナル、ebookです。授業準備はもちろんのこと、語学学習や就職活動、課外活動など幅広い用途で利用できます。図書館WEBサイトには、図書館所蔵の貴重書を閲覧できる「デジタル・ライブラリー」や、本学教員が学生におすすめの本を紹介する「読書ナビ」などのコンテンツを掲載しております。おうち時間が増える今こそ、のぞいてみてくださいね。感染症対策を徹底していますので、滞在型の利用も可能です。これからも、その時々に合わせてサービスを展開していきます。

■ オンラインデータベース・オンラインジャーナル

レポートを書く時の資料集めにオンラインデータベースやオンラインジャーナルを使ってみましょう。Blackboardから使い方がわかりますよ。



今、アクセスしやすいデータベースはこちら



大学の外から使うにはこちら



Japan Knowledge Lib

【コンテンツ】 読書ナビビジュアル(朝日新聞) 同時アクセス数の追加
9月21日より同時アクセス数が50になります(現状4アクセス)。
【期間】2021年1月31日まで

Japan Knowledge Lib

【コンテンツ】 Japan Knowledge Lib 同時アクセス数の追加
9月21日より同時アクセス数が50になります(現状4アクセス)。また11月1日以降は
【期間】2021年1月31日まで

under COVID-19 2020

Mar. 3月

Apr. 4月

May 5月

Jun. 6月

Jul. 7月

Aug. 8月

Sep. 9月

Oct. 10月

Nov. 11月

Dec. 12月

Go to 2021

◆ 臨時休館

◆ オンラインメール相談[ASK]開始
(ラーニング・アドバイザーの大学院生による)

◆ 予約制臨時入館実施
(学部4年生+大学院生向け)

◆ 感染症対策をして
予約制限定開館開始



◆ 予約制限定開館(閲覧席の滞在型利用)

◆ 郵送貸出サービス実施(遠隔地の学生向け)

◆ Zoomオンラインレポート相談開始
(ラーニング・アドバイザーの大学院生による)

詳しくは裏面の「Information」をご覧ください。



◆ デジタル・ライブラリー

デジタル・ライブラリーにアクセス



立教大学図書館では多くの貴重書を所蔵しており、その一部をデジタル化して一般公開しています。ぜひご覧ください。

一部対面授業開始

◆ 卒論・修論執筆者向け
郵送貸出サービス実施
(来館困難な方向け)



■ ebookがOPACで検索可能に

◆ ebook新プラットフォーム「KinoDen」も導入開始



ebook

図書館WEBサイトから「MARUZEN eBook Library」や「KinoDen」などの複数のプラットフォームに掲載された約28,000タイトル(2020年10月現在)を閲覧することができます。和書はもちろんのこと、英語学習に役立つ「外国語リーダー本」も数多く契約しています。学外からでもアクセス可能です。詳しくは図書館WEBサイトをご覧ください。

立教大学図書館
入館予約はこちら



来館予約はこちら

感染症対策を徹底して開館しています。安心してご利用ください!

◆ 「家でも使える図書館」特設サイトOPEN